

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有成分	文獻	症例	通正 収用 措置	感染症(PID)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	WHO/CSR 2007年 12月15日	パキスタンにおけるトリインフルエンザの状況、パキスタン保健省はPeshawar地域におけるH5N1トリインフルエンザの11に疑い症例8例をWHOに報告した。これらの症例は家禽におけるH5N1アウトブレイクに対する処分後に発見された。1例は回復したが、さらに2例の疑い症例が死亡した。疑い症例の検体は国立研究所の検査でH5N1陽性であったが、WHOで更に確定・分析中である。
859	2008/01/28	70859	日本オル ガン	ダナバロイドナトリウム	ダナバロイド ナトリウム	ブタの小腸粘 膜	ベルギー、 ドイツ、フラ ンス、スベ ン、オースト リア、オラン ダ	有効成分	無	無	無			
860	2008/01/28	70860	日本メジ ファイジック ス	放射性医薬品基準ガラクトシル人血清 アルブミンジエチレントリアミン五酢酸ナ クネチウム(99mTc)注射液	ガラクトシル 人血清アル ブミンジエチ レントリアミ ン五酢酸ナ クネチウム (99mTc)	生物学的製 剤基準人血 清アルブミン	日本	有効成分	無	無	無	デング熱	CDC/MMWR 2007; 56(31): 785-789	2005年7月にデング出血熱(DHF)症例1例がTexas州Brownsvilleの住民において報告された。2005年8月に隣接するメキシコTamaulipas州の保健当局はデング熱症例1251例が発生しているデング熱のアウトブレイクを報告し、内223例(17.8%)がDHFであった。臨床的および疫学的調査の結果、同地域でのデング熱アウトブレイクに伴うDHF症例の割合は、2000-2004年はデング熱症例541例中20例(3.7%)であり、増加していることが明らかとなった。
861	2008/01/29	70861	化学及血 清療法研 究所	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	血液凝固第 Ⅷ因子	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	デング熱	PLoS Pathogens 2007; 3: 1895-1906	2005-2006年にレユニオン諸島でアウトブレイクしたデング熱ウイルス(CHIKV)感染は、エンペロブ蛋白遺伝子の変異株(E1-A228V)が関係していた。この変異の、ネットアイスマカおよびヒトスジマカにおけるCHIKV適合性に対する影響を調べた。その結果、CHIKVのヒトスジマカに対する感染性が有意に増加し、哺乳マウスへの伝播がより効率的になることが明らかとなった。通常のベクターであるネッタイシマカがいらない同地域でCHIKVが大流行したのはこの変異が原因と考えられる。